



平成26年10月27日

「持続可能な開発のための教育（ESD）に関する ユネスコ世界会議」について

11月に我が国で、日本政府と国連教育科学文化機関（ユネスコ）の共催により開催する「持続可能な開発のための教育（ESD^{※1}）に関するユネスコ世界会議」について、会議の詳細が決まりましたので、お知らせします。

本世界会議は、ユネスコ加盟国から、閣僚級をはじめ約2,000人の参加を得て、「国連ESDの10年」（2005～2014年）を振り返るとともに、2015年以降のESDの更なる推進方策について議論する予定で、我が国で開催される過去最大規模のユネスコの会議になります。

※1 ESDとは、Education for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育）の略称

（1）閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合（愛知県名古屋市）

日程：11月10日（月）～12日（水）

会場：名古屋国際会議場

（2）ステークホルダー^{※2}の主たる会合（岡山県岡山市）

①ユネスコスクール世界大会

日程：11月5日（水）～8日（土）

会場：ホテルグランヴィア岡山

国立大学法人岡山大学

②ユネスコESDユース・コンファレンス

日程：11月7日（金）

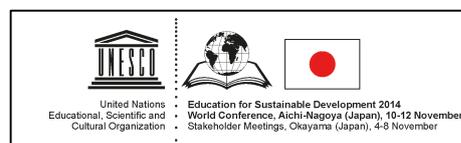
会場：岡山国際交流センター

③持続可能な開発のための教育に関する拠点（RCE）の会議

日程：11月4日（火）～7日（金）

会場：岡山コンベンションセンター

※2 ステークホルダーとは、国連機関、研究者、学校関係者、民間企業、NPO等を想定



世界会議の成果を日本の関係者で共有し、今後の国内でのESDの推進方策を議論する「フォローアップ会合」が、11月13日に名古屋国際会議場で開催されます。

(参考)

■ ESDポータルサイト

平成26年6月から、「ESDに関するユネスコ世界会議」に向けて、広く一般国民及びESDのステークホルダーを対象として、ユネスコ及び開催地元（愛知県名古屋市、岡山市）等と連携を図りつつ、ESDユネスコ世界会議のプログラムや各種イベント等の情報を、一元的に分かりやすく発信することを目的として、ESDに関するポータルサイトを運営。

URL : <https://www.esd-jpnatcom.jp/>



■ ESDフェイスブック

平成25年10月から、ESDを更に周知するためのフェイスブックを運営。ユネスコスクールの活動紹介、ESD標語など、盛りだくさんの内容でESDを分かりやすく発信。

URL : <https://www.facebook.com/esd.jpnatcom/>



■ 世界会議のストリーミング配信（予定）

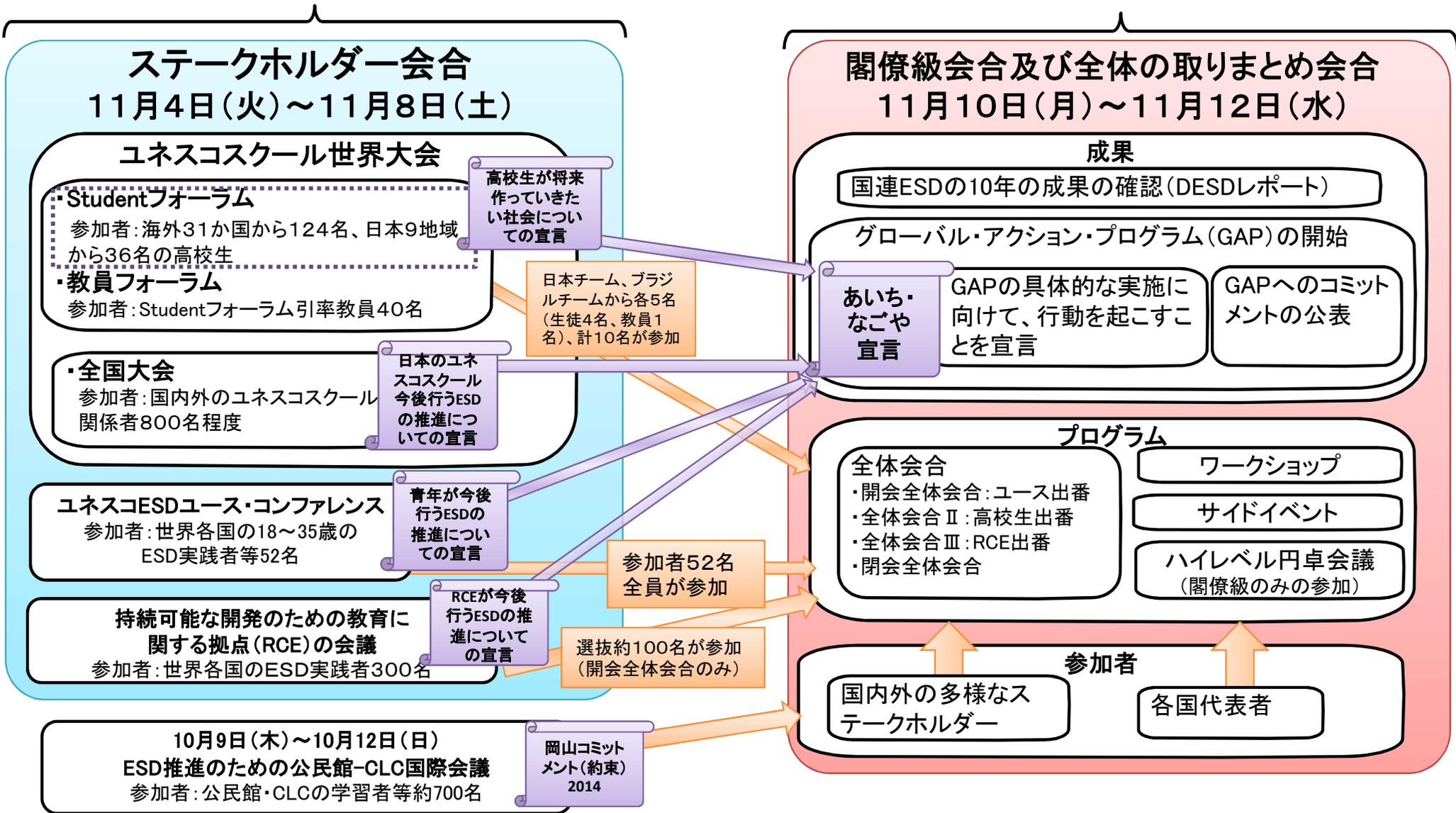
世界会議の主な会議の様子は、ライブ及びオンデマンドでストリーミング配信される予定です。詳しくは、上記ESDポータルサイトを御覧ください。

<担当> 国際統括官付世界会議準備室
国際統括官補佐 本村 宏明
広報・イベント班専門職 小野 憲一
ユネスコ振興推進係長 江幡 忍
電話：03-5253-4111（代表）
03-6734-4956（直通）
FAX：03-6734-3679
E-mail：jpnatcom@mext.go.jp

1. 全体概要

持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議

UNESCO World Conference on Education for Sustainable Development (ESD)



ESDに関するユネスコ世界会議プログラム概要案

11月9日(日)	11月10日(月)	11月11日(火)	11月12日(水)				
9:00	09:15 - 12:00 センチュリーホール 開会全体会合 10年間の成果から	09:00 - 10:30 白鳥ホール 全体会合Ⅱ 万人にとってより良い未来を築くための教育の新たな方向付け -質の高い教育に不可欠の要素であるESD	09:00 - 10:30 白鳥ホール 全体会合Ⅲ 持続可能な開発のための行動促進 -教育を通じた持続可能な開発に関するアジェンダの強化				
9:30							
10:00							
10:30							
11:00							
11:30							
12:00							
12:30				12:00 - 14:00 昼食 12:15 - 13:45 サイドイベント * 昼食提供	12:00 - 12:30 閣僚級写真撮影 13:15 - 13:55 お茶会	10:30 - 11:00 コーヒーブレイク 11:00 - 13:15 ワークショップ(クラスター2) 万人にとってより良い未来を築くための教育の新たな方向付け 1. 就学前教育 2. 初等・中等教育 3. 高等教育・研究 4. 技術教育・職業訓練(TVET)/グリーン スキル 5. 教員養成 6. ノンフォーマル学習とコミュニティ学習 7. 情報通信技術(ICT) 8. ESDの革新的学習のための空間と機会 9. 持続可能な開発及びグローバル市民の教育	10:30 - 11:00 コーヒーブレイク 11:00 - 13:15 ワークショップ(クラスター4) ポスト2014のためのESDアジェンダの策定 1. 包括的な21世紀型のコンピテンシーの強化 2. 様々なレベルでのESDの政策への統合 3. 持続可能な開発目標(SDGs) 4. ESD推進におけるローカル・イニシアティブの役割 5. ESDへの全組織的アプローチ 6. ESDの支援促進 7. 2014年以降のESDのモニタリングと報告の枠組み
13:00							
13:30							
14:00	14:00 - 16:00 白鳥ホール ハイレベル円卓会議 * センチュリーホールでライブ放送	13:15 - 15:15 昼食 13:30 - 15:00 サイドイベント * 昼食提供	13:15 - 15:15 昼食 13:30 - 15:00 サイドイベント * 昼食提供				
14:30							
15:00							
15:30	16:00 - 16:30 コーヒーブレイク 16:30 - 18:45 ワークショップ(クラスター1) 10年間の成果から 1. ESDの概念 2. ESDの政策 3. 国際的に合意された開発目標の達成におけるESDの貢献 4. ローカル・イニシアティブとマルチステークホルダーによるESDネットワークの展開 5. ESDのための革新的な教授・学習アプローチ 6. ESDのためのパートナーシップ動員 7. DESDとESDのモニタリングと評価	16:00 - 16:30 記者会見 15:15 - 17:30 ワークショップ(クラスター3) 持続可能な開発のための行動促進 1. 水と衛生 2. 海洋 3. エネルギー 4. 保健 5. 農業と食糧安全保障 6. 生物多様性 7. 気候変動 8. 防災(災害リスク軽減)(DRR) 9. 持続可能な消費と生産(SCP) 10. 貧困撲滅の観点からみたグリーン経済 11. 持続可能な都市と人間定住	15:15 - 17:15 センチュリーホール 閉会全体会合 ポスト2014のためのESDアジェンダの策定				
16:00							
16:30							
17:00							
17:30							
18:00	19:00 - 21:00 ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会主催 歓迎レセプション	19:00 - 21:00 ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会主催 歓迎レセプション	17:30 - 18:15 記者会見				
18:30							
19:00	19:00 - 21:00 日本政府主催 歓迎レセプション	19:00 - 21:00 ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会主催 歓迎レセプション					
19:30							
20:00							
20:30							
21:00							

ESDに関するユネスコ世界会議
ステークホルダー会合（岡山市）について

11/4	11/5	11/6	11/7	11/8
火	水	木	金	土
1. ユネスコスクール世界大会				
		<p>(1) Student (高校生) フォーラム</p> <p>参加者：海外 31 か国から 124 名 日本 9 地域から 36 名の高校生</p> <p>会場：ホテルグランヴィア岡山</p>	<p>(2) 教員フォーラム</p> <p>参加者：Student フォーラム 引率教員 40 名</p> <p>会場：ホテルグランヴィア岡山</p>	
		<p>Student (高校生) フォーラム 開会式・リエンテーション</p> <p>会場：ホテルグランヴィア岡山</p>	<p>(3) 全国大会</p> <p>講演会・交流会</p> <p>参加者：約 300 名</p> <p>会場：岡山プラザホテル</p>	<p>参加者：国内外の ユネスコスクール教員 約 800 名</p> <p>会場：岡山大学</p>
		<p>2. ユネスコ ESD ユース・コンファレンス</p> <p>参加者：世界各国の 18~35 歳の ESD 実践者等 52 名</p> <p>会場：岡山国際交流センター</p>	<p>フェアウェルパーティ</p> <p>参加者：ユースコンファレンス、RCE 会議参加者</p> <p>会場：ホテルグランヴィア岡山</p>	
		<p>3. 持続可能な開発のための教育に関する拠点（RCE）の会議</p> <p>主催：国連大学</p> <p>参加者：世界各国の ESD 実践者 約 300 名</p> <p>会場：岡山コンベンションセンター</p>		
		<p>オープニングセレモニー</p> <p>主催：岡山市</p> <p>参加者：約 1,400 名</p> <p>会場：岡山シンフォニーホール</p>		

※ESD 推進のための公民館-CLC 国際会議（10/9-10/12）

主 催：岡山市、公民館・CLC 会議実行委員会、文部科学省

参加者：約 700 名

会 場：岡山コンベンションセンター

ESDに関するユネスコ世界会議の成果文書について

「ESDに関するユネスコ世界会議」では、2013年11月の第37回ユネスコ総会で採決された「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム」(GAP)※の具体的な実施に向けて、各ステークホルダーがESDを更に強化し、そのための行動を起こすことを宣言する「あいち・なごや宣言」を採択する予定。宣言は、ESDの重要性を確認し、これまでのDESDの成果を総括するとともに、GAPの実施に向けて全てのステークホルダー、加盟国、ユネスコへ呼び掛けを行う内容となる予定。

(※) ESDに関するグローバル・アクション・プログラム

「国連ESDの10年」の後継プログラム。5つの優先行動分野（(1)政策的支援、(2)機関包括的取組、(3)教育者の育成、(4)若者の参加の支援、(5)地域コミュニティの参加の促進）を定め、ステークホルダーからコミットメントという形で2015年以降の具体的な計画を収集し、2015年以降のESDの取組を推進する。

(GAPの仮訳は「5. 補足資料」参照)

2. 閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合（愛知県名古屋市）

ESDに関するユネスコ世界会議の構成について

世界会議の4つの目標

1. 10年間の成果から
2. 万人にとってよりよい未来を築くための教育の新たな方向付け
3. 持続可能な開発のための行動促進
4. ポスト2014のためのESDアジェンダの策定

全体会合

1. 開会全体会合：DESD（国連ESDの10年）の成果を検証すると共に、世界の現状に対するESDの急務課題を確認する。
2. 全体会合Ⅱ：持続可能性に関連する事柄を教育に取り込むことが質の高い教育の実現に寄与するという側面からESDの意義を考察する。地球市民教育に対するESDの貢献を具体化する。
3. 全体会合Ⅲ：気候変動や防災（災害リスク軽減）、生物多様性といったESDならではの特徴に光を当てる。
4. 閉会全体会合：世界会議で得た成果から、ポスト2014年のESD活動について協議する。

ハイレベル円卓会議

ユネスコ加盟国の閣僚級代表者等が出席し、ESDの政策的な取組について議論する。イリナ・ボコバ ユネスコ事務局長と下村博文 文部科学大臣が共同議長を務める予定。

ワークショップ（合計34件のうち日本関係機関がコーディネーターを務めるもの4件）

- クラスター1.（計7件） 国立教育政策研究所、地球環境戦略研究機関
- クラスター2.（計9件） 岡山市
- クラスター3.（計11件）
- クラスター4.（計7件） ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会及びRCE中部

サイドイベント（合計24件予定）

プログラムについては調整中であり、今後変更あり得ることは御了解下さい。

ESDに関するユネスコ世界会議
2014年11月10日-12日 (愛知県名古屋市)

全体会合プログラム (案)

1日目 11月10日(月) 09:15-12:00	開会全体会合 会場：センチュリーホール テーマ：10年間の成果から	
時間	セッション	スピーカー
9:15-10:25	開会	
	文化プレリウド:狂言「三番叟(さんばそう)」	野村萬斎(日本ユネスコ国内委員)
	開会挨拶	Irina Bokova ユネスコ事務局長
	お言葉	皇太子殿下
	開会挨拶	下村博文 文部科学大臣(予定)
	開会挨拶	大村秀章 愛知県知事
	ビデオメッセージ	潘基文 国連事務総長 Achim Steiner 国連環境計画(UNEP)事務局長
	スピーチ	Lalla Hasna モロッコ王女 モハメッド6世環境保護 基金代表
10:25-11:20	10年間の成果から	
	国連ESDの10年に関する最終レポートの発表	Qian Tang ユネスコ教育担当事務局長補
	パネルディスカッション 「国連ESDの10年の成果と課題」	Irina Bokova ユネスコ事務局長
		Vasant K. Bunwaree モーリシャス教育大臣
		Susan Hopgood 教育インターナショナル会長 ユース代表 ¹
	文化インターラード:バイオリン演奏「ジュピター」「ホワイト・レジェンド」	川井郁子(日本ユネスコ国内委員)
11:20-12:00	ポストDESDに向けて	
	国連ESDの10年後、更なるESDの発展につながる閣僚級からのコミットメントの発表	Johanna Wanka ドイツ連邦教育大臣
		Madiha Bint Ahmed Ben Nasser Al Shibaniya オマーン教育大臣
		Jacob T. Kaymenyi ケニヤ教育大臣
		Nurul Islam Nahid バングラデシュ教育大臣
		Magele Mauiliu Magele サモア教育・文化・スポーツ大臣
	会議のアジェンダ概要	Soo Choi ユネスコ Teaching, Learning and Content部長

¹ 世界会議に先立って開催される岡山のユース・コンファレンスの参加者から選抜。

2日目 11月11日(火) 9:00-10:30	全体会合Ⅱ 会場:白鳥ホール テーマ:万人にとってよりよい未来を築くための教育の新たな方向付け	
時間	セッション	スピーカー
9:00-10:30	2030年のESD-どのようになっているか	
	パネルディスカッション 「2030年のESD-どのようになっているか」	Naana Jane Opoku-Agyeman ガーナ教育大臣
		Jan Eriksen 国際環境教育基金会長
		Camilla Croso グローバル・キャンペーン・フォー・エデュケーション代表
		Juan Diaz de la Torre メキシカン・ナショナル・エデュケーション・ワーカーズ・ユニオン、プレジデント
		ユネスコス쿨の高校生代表 ²

² 世界会議に先立って開催される岡山のユネスコス쿨世界大会(高校生フォーラム)の参加者から選抜。

3日目 11月12日(水) 9:00-10:30	全体会合Ⅲ 会場:白鳥ホール テーマ:持続可能な開発のための行動促進	
時間	セッション	スピーカー
9:00-10:30	教育は持続可能な開発のゲームチェンジャー?	
	パネルディスカッション 教育は持続可能な開発のゲーム チェンジャー?	Roza Otunbayeva キルギスタン前大統領
		高橋ひなこ 環境大臣政務官(予定)
		Hans van Ginkel 持続可能な開発のための教育に関する拠点(RCE)
		Jeffrey Sachs コロンビア大学教授 持続可能な開発のソリューションネットワーク(ビデオ出演)
		Arab Hoballah 国連環境計画持続可能な消費と生産支局チーフ

3日目 11月12日(水) 15:15-17:15	閉会全体会合 会場:センチュリーホール テーマ:ポスト2014のためのESDアジェンダの策定	
時間	セッション	スピーカー
15:15-15:45	世界会議の結果	
	世界会議ラポルトゥールによる発表	Heila Lotz-Sisitka 南アフリカ ローズ大学世界会議ラポルトゥール
	あいち・なごや宣言の発表と採択	
15:45-16:35	グローバル・アクション・プログラムの発表	
	GAPの実施についての発表	Qian Tang ユネスコ教育担当事務局長補
		5名のステークホルダーからのGAPのコミットメントの発表
16:35-17:00	閉会	
	子供たちによる発表	ESD あいち・なごや子ども会議の参加者
	閉会の辞	丹羽秀樹 文部科学副大臣(予定)
		Qian Tang ユネスコ教育担当事務局長補

ESDに関するユネスコ世界会議
ハイレベル円卓会議概要

1. 日時：平成26年11月10日（月） 14：00－16：00
2. 場所：名古屋国際会議場 白鳥ホール
3. 目的：ESDに関して政策的に取り組むべき案件について議論し、必要な方策や障害となる課題、対応策についての意見を取りまとめる。
円卓会議の議論の要約は最終日の閉会全体会で発表する。
4. テーマ：下記の4つの質問に基づく。
 - ① なぜESDが採用される国と、そうでない国があるのか。
 - ② 教育と持続可能な開発に関する政策をESDとして統合したことによる成功要因は何か。
 - ③ ESDについての政策的環境の整備を妨げるものは何か。
 - ④ ESDに関する政策的な取り組みを向上させるために国および国際レベルで起こすべき行動は何か。
5. 出席者：① 閣僚級ユネスコ加盟国代表者
② 政府間レベルの機関の長
③ その他ハイレベルな肩書きを有する者
6. 傍聴：閣僚級以外の会議参加者も同ホールで傍聴可能
ライブとオンデマンドでストリーミング配信予定
7. 使用言語：英語、仏語、日本語（同時通訳）
8. 進行案：① 共同議長：イリナ・ボコバ ユネスコ事務局長
下村 博文 文部科学大臣（予定）
モデレーター：ステファン・コール アルジャジーラ・シニア
プレゼンター
② 導入発言（ESDに熱心な国から4、5人発言）
③ 対話方式の議論

ESD に関するユネスコ世界会議 ワークショップ一覧

1 日目 11 月 10 日(月) 16:30-18:45

クラスター1:「行動の 10 年」を祝して クラスター・アドバイザー:ゲルハント・ド・ハーン(Gerhard de Haan)、ドルカス・オティエノ(Dorcas Otieno)			
No	テーマ	コーディネーター	
1	ESD の概念	ローズ大学	国立教育政策研究所(日本)
2	ESD の理念	南アフリカ野生生物・環境協会 (アフリカ南部開発コミュニティ による地域環境教育プログラム (SADC-REEP)の代表として)	ベトナム教育訓練省
3	国際的に合意された開発目標達成に対する ESD の貢献	スウェーデン持続可能な開発 教育のための国際センター	世界教育キャンペーン
4	ESD のための現地イニシアティブとマルチステーク ホルダー・ネットワークの構築	国連大学サステナビリティ研究 所	アブダビ環境庁
5	ESD に対する革新的な指導・学習アプローチ	ユネスコチェア ワーゲニンゲン 大学、ゲーテンベルグ大学、 社会的学習と持続可能な開発	国連平和大学 持続可能な開発 のための教育 地球憲章センター
6	ESD のためのパートナーシップ動員	ブビヤン銀行	アマナ・キー・グループ
7	DESD と ESD のモニタリング・評価	ESD モニタリング・評価専門家 グループ	国際連合欧州経済委員会、地球 環境戦略研究機関

2 日目 11 月 11 日(火) 11:00-13:15

クラスター2: 万人のためのよりよい未来に向けた教育の見直し			
クラスター・アドバイザー: チャールズ・ホプキンス(Charles Hopkins)、レイチェル・トライバー(Rachel Trajber)			
No	テーマ	コーディネーター	
1	幼児教育・発達支援	世界幼児教育機関	アフリカ教育開発協会
2	初等・中等教育	チリ教育省	スワジランド環境庁
3	高等教育・研究	国際大学協会	リオ+20 高等教育持続可能性イニシアティブ/国連環境計画
4	技術職業教育訓練(TVET) / 環境スキル	ユネスコ国際職業技術教育訓練センター / TVET 機関間作業グループ	モーリシャス訓練・開発機関
5	教員のための教育	国際理解のための教育アジア・太平洋センター	エデュケーション・インターナショナル 教員教育機関国際ネットワーク
6	非公式学習・地域社会での学習	ユネスコ生涯学習研究所	岡山市(2014年10月ESD推進のための公民館-CLC国際会議主催者)
7	情報通信技術(ICT)	持続可能な開発のためのヤング・マスター・プログラム	ユネスコチェア「持続可能な開発のための教育・訓練・研究」ボルドー第三(ミシェル・ド・モンテーニュ)大学
8	ESD のための革新的な学習空間と機会	芸術教育研究国際ネットワーク	ユネスコ世界遺産センター
9	持続可能な開発とグローバル・シティズンシップのための教育	カリフォルニア大学パオロ・フレイル研究所、ブラジル パオロ・フレイル研究所	欧州評議会南北センター

2 日目 11 月 11 日(火) 15:15-17:30

クラスター3: 持続可能な開発に向けた行動の加速			
クラスター・アドバイザー: カルテキヤ・サラバイ(Kartikeya Sarabhai)、パスカル・フヌー(Pascal Houenou)			
No	テーマ	コーディネーター	
1	水・衛生	ユネスコ国際水文学計画	ユネスコチェア 水、女性・決定権 アル・アハワイン大学
2	大洋	政府間海洋学委員会	世界大洋ネットワーク
3	エネルギー	電気工学・電子工学技術学会	エミレーツ環境グループ
4	保健	世界保健機関(WHO)	FHI360
5	農業と食糧安全保障	ヘリオポリス大学セテム持続可能な開発部門	国連食糧農業機関(FAO)
6	生物多様性	国際自然保護連合	国連生物多様性条約
7	気候変動	ドミニカ共和国気候変動国家委員会	国連気候変動に関する教育・訓練・国民意識のための同盟
8	災害リスク削減(DRR)	自然災害モニタリング・警戒のためのブラジル・センター、ブラジル科学技術省	DRR 知識・教育のためのグローバル・アライアンス(国連災害リスク削減局)
9	持続可能な消費と生産(SCP)	持続可能な消費と生産に関する10年計画枠組み: UNEP 事務局	マクズミ財団
10	貧困撲滅における環境に優しい経済	アジア開発銀行	南アフリカ大学
11	持続可能な都市と人間定住	国連人間居住計画(UN HABITAT)	メキシコ市環境省

3 日目 11 月 12 日(水) 11:00-13:15

クラスター4:2014 年以降の ESD アジェンダの設定			
クラスター・アドバイザー:ミシェル・リカルド(Michel Ricard)、サリー・アスカー(Sally Asker)			
No	テーマ	コーディネーター	
1	ホリスティックな 21 世紀型コンピテンシーの促進	ユネスコチェア リューネブルク 大学持続可能な開発のための 高等教育	アジア・太平洋教育の質モニタリ ング・ネットワーク (NEQMAP)
2	ESD をさまざまなレベルで政策に取り込むには	カナダ教育省委員会	カリブ共同体 (CARICOM)
3	持続可能な開発目標 (SDGs)	インド環境教育センター	国連経済社会局
4	ESD 推進に現地イニシアティブの果たす役割	ドイツユネスコ国内委員会	ESDユネスコ世界会議あいち・な ごや支援実行委員会、RCE 中部
5	ESD に対する全機関的アプローチ	環境教育基金	環境保護のためのモハメド基金
6	ESD 支援の促進	新ビジョン教育プロジェクト/ 世界経済フォーラム	教育のためのグローバル・パート ナーシップ
7	2014 年以降の ESD のためのモニタリング・報告 枠組み	国際教育到達度評価学会	タリン大学政治・ガバナンス研究 所

ESDに関するユネスコ世界会議 サイドイベント
持続可能な開発のための教育とジェンダー格差の是正
～ポスト 2015 教育アジェンダに向けて～

1. 開催日時：平成26年11月10日（月）12：15～13：45
2. 開催場所：名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）
3. 主催：文部科学省、外務省
協力：早稲田大学大学院アジア太平洋研究科
4. 参加者：「ESDに関するユネスコ世界会議」参加者約300名（予定）
5. 基調講演者等：
 - ①基調講演者 シャバナ・バシージ＝ラシーフ（アフガニスタン指導者学院共同設立者兼院長）
 - ②パネリスト 横関祐見子（ユニセフ中西部アフリカ地域教育アドバイザー）
 - ③ファシリテーター 黒田一雄（早稲田大学教授）
6. 概要：

持続可能な開発の基盤となる社会参加に不可欠な女子教育に関して、シャバナ・バシージ＝ラシーフ氏から、これまで直面した課題について社会開発及びジェンダー格差の是正の観点も含め講演する。途上国と先進国の垣根を越え、環境、経済、社会の統合的な発展を考える時に、ジェンダー問題や教育の質に関し、どのような教育や国際協力が必要か、パネリスト、参加者を交えてディスカッションを行い、今後の教育について世界的な展望を考える。

シャバナ・バシージ＝ラシーフ SOLA代表

（Ms. Shabana Basij-Rasikh）

1990年アフガニスタン生まれ。米国ミドルベリー大学にて国際教育、女性・ジェンダー教育を専攻、2011年卒業。アフガニスタン指導者学院（注）共同設立者兼院長。

（注）The School of Leadership, Afghanistan。アフガニスタンの発展及び次世代のリーダー育成を目的として、アフガニスタンで最初の女子学校として2008年に設立された。現在、アフガニスタンの若い女性教育のための寄宿学校として、340人の学生がいる。

2012年にTED Talksや2013年にクリントン・グローバル・イニシアティブに出演するなど、学院経営を行いつつ、アフガニスタンの将来と女子教育の重要性につき国際的な講演活動にも従事。



「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」
記念茶会の開催について

1, 概要

ESD ユネスコ世界会議中、各国の代表団等に対して、ユネスコ親善大使の裏千家第15代家元 千玄室大宗匠による茶会が行われます。茶道は芸術性、宗教性、哲学性、社交性といったすべてのものを包み込む、総合的な文化であり、世界会議参加者に日本の伝統文化に触れていただく機会を提供します。

2, 日時

平成26年11月10日（月）13:10から

3, 場所

名古屋際会議場白鳥ホール

4, 参加者

各国閣僚をはじめとする会議参加者（約100名）



利休居士第15代
前家元
鵬雲斎 千玄室

【プロフィール】

1923年生まれ 91才。

「一碗からピースフルネスを」の理念のもと、世界60数か国を歴訪。現在、一般社団法人茶道裏千家淡交会会長、ユネスコ親善大使（平成24年）、日本・国連親善大使（平成17年）、公益財団法人日本国際連合協会会長、公益財団法人日本オリンピック委員会名誉委員、公益社団法人日本馬術連盟会長、更に平安女学院名誉委員長、大阪大学大学院客員教授、中国芸術研究院芸術顧問、中国・浙江大学名誉教授、ハワイ大学教授等100以上の公職、役職を持つ。

文化功労者国家顕彰、文化勲章、レジオン・ドヌール勲章オフィシエ（フランス）、独立勲章第一級（UAE）等国内外より多数受章。

国際統括官付 ESD ユネスコ世界会議
愛知・名古屋班 吉澤、大島
TEL : 03-6734-4962（直通）
FAX : 03-6734-4968

4号館

Shirotori Hall

- ハイレベル円卓会議 (11月10日)
- 全体会合 (11月11日)
- 全体会合 (11月12日)

救護室

一般事前登録
参加者受付

Event Hall

- 展示
- あいち・なごや おもてなし交流エリア
- 一般総合インフォメーション

25優良実践事例
展示ブース

1号館

総合インフォメーション
遺失物取扱所

UNESCOブース

日本政府ブース

3号館

ビジネスセンター
(プリント、コピー、名刺)

ネットワーキング
スペース

あいちなごや情報カウンター
エクスカーションデスク
宿泊関連デスク

祈祷室

Century Hall

- 開会全体会合 (11月10日)
- 閉会全体会合 (11月12日)
- ハイレベル円卓会議 サテライト会場 (11月10日)

WS1

211A

211B

212

プレス受付

公式会議参加者受付

ワークショップ
サイドイベントデスク

ビジネスセンター
(FAX)

記者控室・記者会見場

2号館

一般参加者が入場できるエリア
(事前登録が必要)



金属探知機



プラスチックフェンス



3号館

4号館

1号館

2号館

白鳥ホール上部

イベントホール上部

パナソニックキッズスクール
絵日記コンテスト

パブリケーション・センター

VIP参加受付

ID発行所

サイバーカフェ

WS4

224

WS2

221

WS3

222-223

Century Hall

開会全体会合 (11月10日)
閉会全体会合 (11月12日)
ハイレベル円卓会議 サテライト会場
(11月10日)

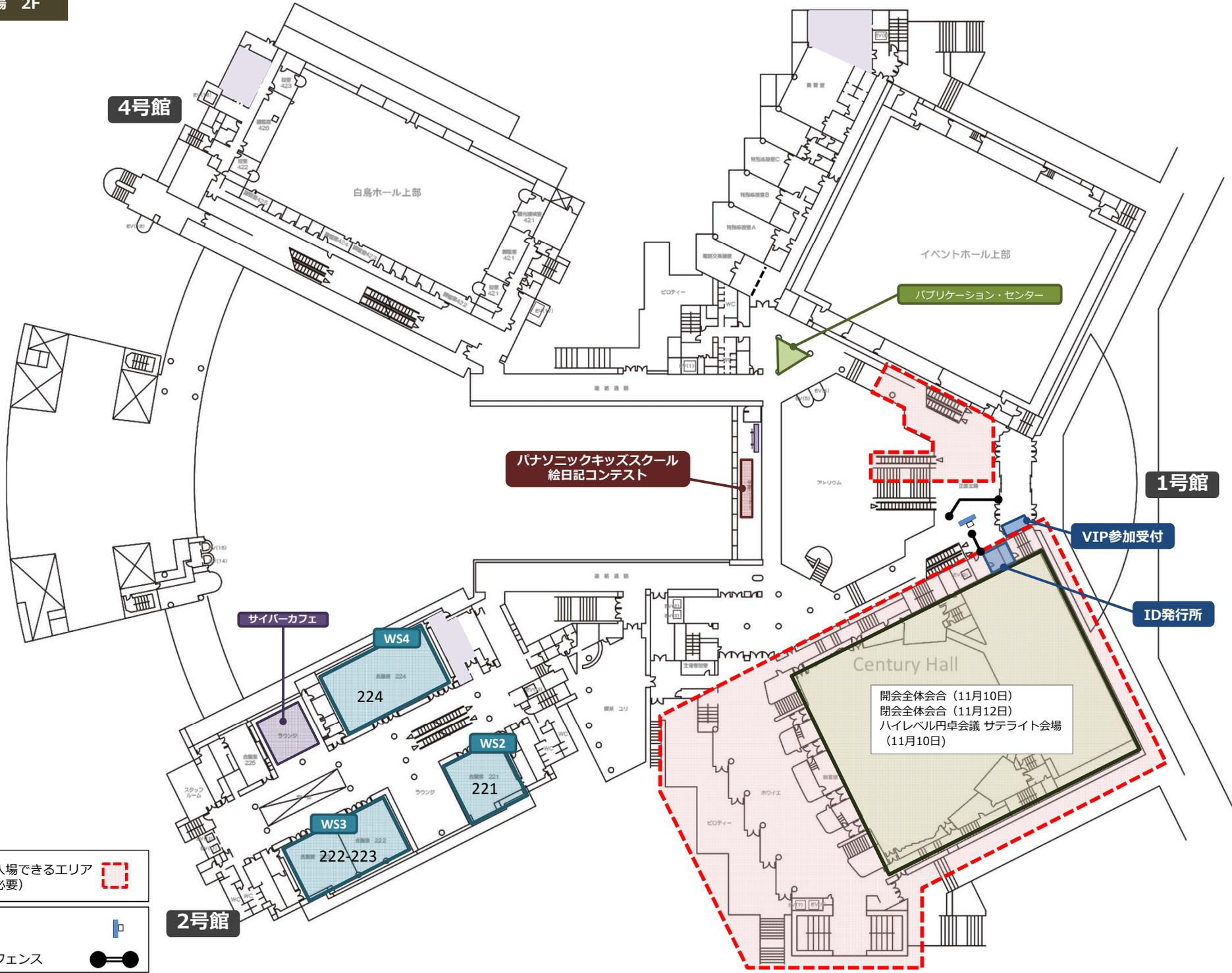
一般参加者が入場できるエリア
(事前登録が必要)

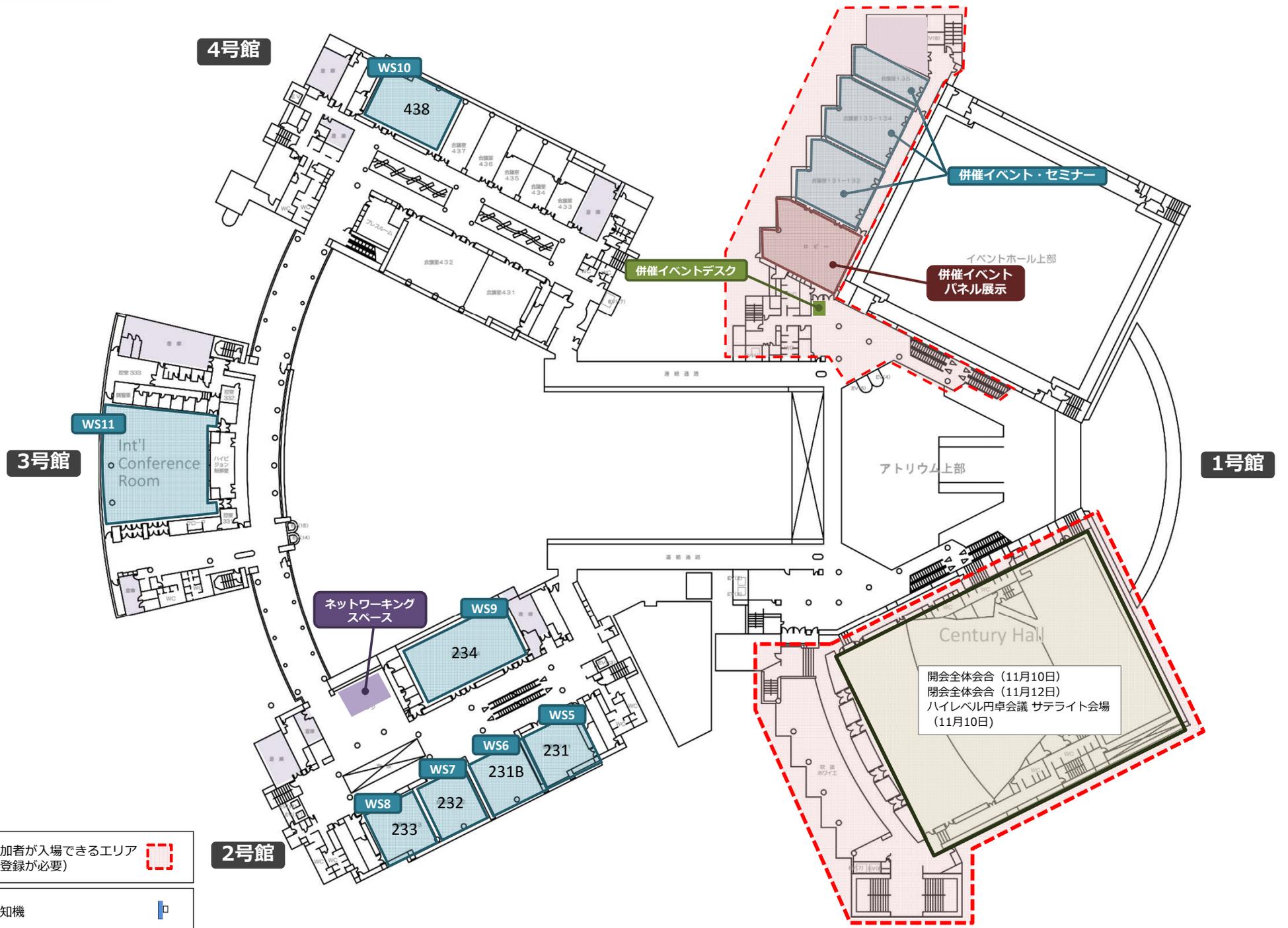


金属探知機



プラスチックフェンス





一般参加者が入場できるエリア
(事前登録が必要) 

金属探知機 
 プラスチックフェンス 

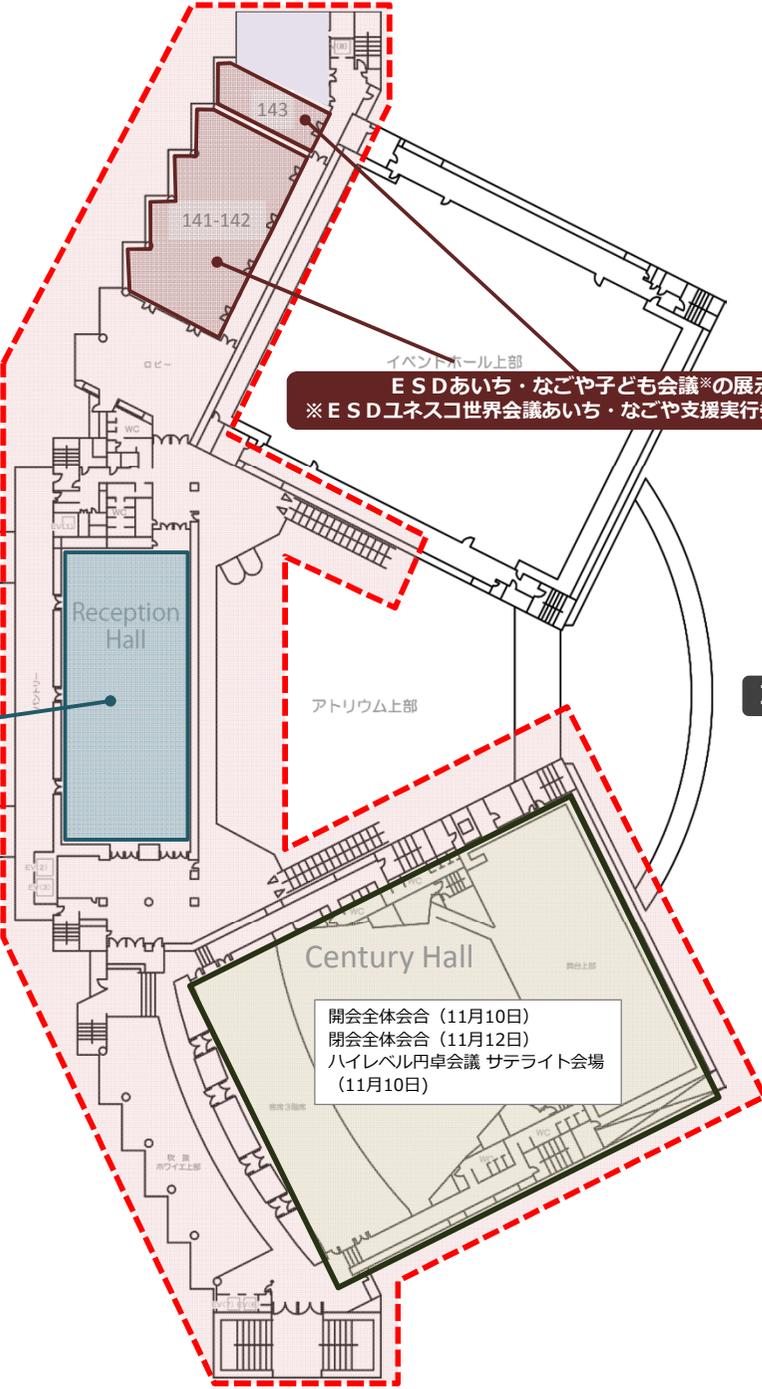
4号館

3号館

国際会議室上部

ESDあいち・なごや子ども会議 (11月10日)
併催イベント・セミナー (11月11日~12日)

2号館



ESDあいち・なごや子ども会議*の展示
※ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会主催

1号館

Century Hall

開会全体会合 (11月10日)
閉会全体会合 (11月12日)
ハイレベル円卓会議 サテライト会場
(11月10日)

一般参加者が入場できるエリア
(事前登録が必要)



金属探知機



プラスチックフェンス



これからの日本のESDが ここから始まります

参加無料
10/31締切

2005年から始まった国連ESDの10年を振り返り、2015年以降のESDの推進方策について議論するユネスコ世界会議終了後の今年11月13日、世界会議の成果をフィードバックするとともに、2015年以降、日本国内におけるESDの推進方策について議論を行う「フォローアップ会合」を開催します。

これまでESDに取り組んできた実践者・推進者の皆さん、これからのESDに関心を持たれている皆さんにお集まりいただき、2015年以降のESD推進の方向性とその実現に向けたアクションについて議論する場です。多くのご参加をお待ちしています。

日時：平成26年**11月13日**（木）10時～17時
会場：名古屋国際会議場（白鳥ホールほか）

主催：文部科学省 共催：外務省 環境省
企画運営：特定非営利活動法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議（ESD-J）
参加費：無料（事前申込制）

参加申込は下記ウェブサイトから
https://convention-net.jp/cg/esd_reg/index.html

■タイムテーブル（予定）

10:00	開会 【主催者挨拶】
10:15-10:45	セッションⅠ 【ESDユネスコ世界会議の成果の共有】 ユネスコ事務局より、世界会議の成果、日本へのメッセージなどを聞く。
10:45-12:30	セッションⅡ 【ESDの今後の取組を語る①】 国内の主なステークホルダーが作成したESD推進に関する提言や行動計画等や、政府によるESD推進施策などを共有する。
12:30-13:30	休憩
13:30-15:30	セッションⅢ 【ESDの今後の取組を語る②】 ～分科会～ ESD推進に必要な6つのテーマで分科会を設定。セッションⅡの情報も踏まえ、今後の日本のESDを進める上で、何が課題で何を実現すべきかを議論し、提案や引き続き検討すべき課題を整理する。
15:45-16:55	セッションⅣ 【会合全体の総括】 各分科会での報告を受けて、これからのESDの方策を総括する。
17:00	閉会

■分科会テーマ（予定）

※お申込み時に第二希望まで入力願います。参加いただける分科会は当日ご案内いたします。

分科会 1 学校におけるESD推進

小中高等学校等の公教育でのESDは今後ますます重要です。より多くの学校にESDを広めていくためには何が必要か、また地域や企業、行政等との連携を進めていくためには何が課題でどのような施策が有効なのか。ここでは学校でのESD展開における有効な方策について議論します。

分科会 2 地域社会におけるESD推進

ESDは学校教育のみならず、社会教育や地域づくり、企業の人材育成など、様々な場で展開されていくことが重要です。持続可能な地域づくり、社会づくりにつながるESDを広く進めていくためには何が必要か。ここでは地域でのESD展開における有効な方策について議論します。

分科会 3 ユース・エンパワメント

持続可能な社会づくりには、次世代を担うユースの活躍が欠かせません。ユースがESDに触れる機会の拡大や、主体的な学び・活躍の支援、社会参画の保障などが課題です。ここでは、ユースがより活躍できる社会に向けて必要な方策について、ユースの活動者が中心になって議論します。

分科会 4 ESDの担い手育成

ESDを推進するためには、教育や地域づくりにかかわる人々のコーディネーション力（つなぐ力）やファシリテーション力（主体性を引き出し、議論や学びを促進する力）を高めていくことが重要です。ここではその育成方策や、そのような人材の活躍の場づくりについて議論します。

分科会 5 ESD実践や教材、支援等の情報共有

地域でESDに取り組む際に、有効な教材や好事例、GAPへのコミットメント等の情報共有は大いに参考になりますが、現在は情報が散在し、一元化されていないのが現状です。また実践にあたっての支援やサポートなどの情報共有も重要です。ここでは情報共有とその活用について議論します。

分科会 6 ESD推進のネットワーク

ESDには多様な主体の連携・協働が有効であり、その推進のための仕組づくり、ネットワークづくりが求められています。地域レベル、広域レベル、国レベルでどのような仕組みを構築するのか、そこにはどのような機能が必要なのか、どのような主体が参画しどう運営していくのか。ここでは今後につながるネットワークについて議論します。

■こんな人に参加してほしい

- ・学校や大学、社会教育施設、地域活動等の場で、ESDに取り組んできた方々
- ・行政や大学、教育委員会、NPO等の立場で、ESDの推進・支援に取り組んできた方々
- ・これまでESDの場に参加し、今後のESDを担っていきたいと考えるユース
- ・これからESDについて関心を持って参画したいと考えている方々 など

■参加申込 下記ウェブサイトよりお願い致します。（10/31締切）

https://convention-net.jp/cg/esd_reg/index.html

★会場アクセス（名古屋国際会議場）

<http://www.nagoya-congress-center.jp/access/>

名古屋駅から地下鉄利用で約20分程度
詳細は上記URLよりご確認ください。

参加申込の問合せ

ESDユネスコ世界会議関連イベント参加登録事務局

（株式会社コングレ内）

TEL：03-5216-5620

E-mail：regi-esd@congre.co.jp

実施企画についての問合せ

認定NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議（ESD-J）

TEL：03-5834-2061

E-mail：fu@esd-j.org

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-38-5日能研ビル201



3. ステークホルダーの主たる会合 (岡山県岡山市)

ESDに関するユネスコ世界会議ステークホルダー会合（岡山市）について

会議名称		開催日	参加者	事業概要
ユネスコスクール世界大会	Student(高校生)フォーラム	11/5(水)ー7(金)	海外 31 か国から 124 名、日本 9 地域から 36 名の高校生 計 160 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生が ESD の実践で得た成果を共有し、2015 年以降の ESD 理念の更なる普及とユネスコスクールを通じた連帯の一層の深化において高校生が果たす役割等について宣言を策定する。 ・ 「宣言」は世界会議でも共有する。 ・ フォーラムの運営も高校生が担当する。 ・ 日本・海外各 1 チームが世界会議に出席する。
	教員フォーラム	11/7 (金)	高校生フォーラム引率教員 40 名	・ 高校生フォーラムの議論も踏まえ、今後の ESD 推進に果たす教員の役割等について議論する。
	全国大会	11/8 (土)	国内外のユネスコスクール教員等約 800 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ ESD の推進拠点としてのユネスコスクールにおける ESD の取組を総括し、2015 年以降の活動の更なる発展に向けた方策を議論し、宣言を策定する。 ・ 「宣言」は世界会議でも共有する。
	講演会・交流会	11/7 (金)	ユネスコスクール関係者約 300 名	・ 安西祐一郎日本ユネスコ国内委員会会長による講演会及び参加者相互の交流会を開催する。
ユネスコESDユース・コンファレンス	11/7 (金)	世界各国の 18~35 歳の ESD 実践者等 52 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各人の活動成果を共有した上で、若者の ESD への関与促進に向けた宣言を策定する。 ・ 「宣言」は世界会議でも共有する ・ 会議参加者は全員、世界会議に参加する。 	
持続可能な開発のための教育に関する拠点 (RCE) の会議	11/4(火)ー7(金)	ESD 研究者、国連大学関係者、ユネスコ関係者、NPO/NGO、市民団体等 300 名	・ RCE の活動の成果と課題を振り返り、RCE が 2015 年以降も効果的に実施していける ESD の具体的な取組について検討する。	

※オープニングセレモニー： 11/6 (木) 各種ステークホルダー会議全体の開会式。岡山市招待者約 1,400 名が参加。(岡山支援実行委員会、岡山市主催)

※フェアウェルパーティ： 11/7 (金) ユネスコESDユース・コンファレンスと持続可能な開発のための教育に関する拠点 (RCE) の会議の参加者のための送別会。(岡山支援実行委員会主催)

ESDに関するユネスコ世界会議ステークホルダー会合
オープニングセレモニー（概要）

1. 日 程：平成 26 年 11 月 6 日（木） 18:00～19:45 オープニングセレモニー
20:00～21:00 交流会
2. 場 所：岡山シンフォニーホール（岡山市）
3. 主 催：ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会、岡山市
4. 共 催：岡山県
5. 招待者：約 1,400 人
6. プログラム案：

（1）オープニングセレモニー

17:00	開場 ウェルカム演奏
18:00	桃太郎少年合唱団&岡山市ジュニア合唱教室による合唱 ピアノ：ユネスコ平和芸術家 城之内 ミサ 氏
18:15	開会挨拶 ・主催者代表挨拶 岡山支援実行委員会会長（岡山市長） 大森 雅夫 ・来賓挨拶 チェン・タン ユネスコ事務局長補（予定） 赤池 誠章 文部科学大臣政務官（予定） 国連大学上級副学長 武内 和彦 来賓紹介 基調講演 第8代ユネスコ事務局長 松浦 晃一郎 氏 アトラクション ・岡山三曲協会による演奏 ・魅力発信映像上映（岡山と瀬戸内海の魅力、岡山のESD活動の紹介）
19:40	閉会挨拶 岡山県知事 伊原木 隆太

（2）交流会

20:00	オープニング（ユネスコ平和芸術家 城之内ミサ 氏 他による演奏）
20:10	歓談
21:00	閉会

<問合せ先>

ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会事務局
（岡山市ESD世界会議推進局内）

担当：清水、岡本、佐藤

電話：086-803-1352（直通） FAX：086-803-1777

E-mail: esd@city.okayama.jp

ESDに関するユネスコ世界会議ステークホルダー会合
ユネスコスクール世界大会
Student（高校生）フォーラム及び教員フォーラム（概要）

1. 趣 旨：

日本を含む世界各国から集まったユネスコスクールの Student（高校生）が、これまで ESD を学習してきた成果を共有し、2015 年以降の ESD 理念の更なる普及においてユネスコスクールや高校生が果たす役割等について宣言をまとめる。

それぞれの ESD の学びの成果を背景として、自ら（高校生自身）が大人になってどのような社会を創っていくか、また自らがどう生きていくかについて、その考えを共同宣言として発信する（同宣言は、愛知県名古屋市で開催される「ESD に関するユネスコ世界会議」（閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合）において共有される）。

教員フォーラムでは、各国の引率教員が、高校生フォーラムの議論も踏まえ、今後の ESD 推進に果たす教員の役割等について議論する。

2. 日 程：平成 26 年 11 月 5 日（水）～7 日（金）

3. 場 所：ホテルグランヴィア岡山（岡山市）

4. 主催等：主催 ユネスコ、文部科学省、日本ユネスコ国内委員会
共催 岡山市、岡山市教育委員会、岡山県、岡山県教育委員会、
岡山県高等学校校長協会、大阪ユネスコスクールネットワーク

5. 参加者：各国ユネスコ国内委員会の推薦を受けた国代表としての、ESD 活動に熱心なユネスコスクールの Student（高校生 15～18 歳）4 名、教員 1 名の 5 名を 1 チームとする、国内 9 チーム、海外 31 か国各 1 チームの計 40 チーム（高校生 160 名、教員 40 名）。

6. （1）高校生フォーラム プログラム（案）

11 月 3 日 （月）	適宜	海外からの参加者、成田、関空等到着。各地域へ移動。
11 月 4 日 （火）	終日	地域交流会
11 月 5 日 （水）	午前 17:00-19:00	海外からの参加者、国内参加者とともに岡山へ移動 開会式（主催者挨拶：山中伸一 文部科学事務次官（予定）、 Anantha Duraiappah ユネスコ・マハトマ・ガンディ平和と持続 可能な開発のための教育研究所所長、大森雅夫 岡山市長）、 オリエンテーション
11 月 6 日 （木）	9:00-12:00 14:00-15:45 18:00-20:00	各国プレゼンテーション(4 分科会) 分科会 (2 分科会) 岡山市主催オープニングセレモニー参加
11 月 7 日 （金）	9:00-11:30 12:30-14:00 14:30-15:00 17:00-19:00	全体会（挨拶：下村博文 文部科学大臣（予定）、イリナ・ボ コバ ユネスコ事務局長） 宣言起草委員会 全体会（宣言文採択） 岡山市主催交流会へ参加
11 月 8 日 （土）	終日 夕方	生徒：岡山市主催エクスカーショント参加 教員：ユネスコスクール全国大会へ参加 一部国内参加チーム、帰郷

11月9日 (日)	適宜	海外参加チーム帰国、国内参加チーム帰郷
--------------	----	---------------------

- 備考：・高校生フォーラムは岡山県下及び大阪ユネスコスクールネットワーク所属の高校生約600名が会議運営を担当する
- ・海外からの参加者は11月3日（一部11月2日）に来日後、日本の参加チームの地元滞りし、各地域が主催する「地域交流会」に参加する。
- ※地域交流会の主な内容
 授業見学、部活動見学、ディスカッション、日本文化体験、各地域の文化遺産・観光地等見学、県知事表敬訪問、歓迎パーティー 等
- ・参加チームは事前にプレゼンテーション資料を作成し会議で発表する。

(2) 教員フォーラム プログラム (案)

11月7日 (金)	15:30-16:10 16:10-17:30 17:30-18:15 18:15-18:30	開会（歓迎の挨拶、フォーラム概要説明） 分科会（2分科会） 全体会 閉会式
--------------	--	--

7. 高校生フォーラム・教員フォーラム参加国・地域一覧

国内から9チーム	海外から31チーム(31か国)
北海道	デンマーク、ケニア、カナダ、カザフスタン
札幌市立札幌大通高校	
東北	フランス、レバノン、ペルー、バングラデシュ
福島県立安達高校	
関東※	南アフリカ、ニュージーランド、ベトナム
千葉県立佐倉南高校、千葉県立千葉東高校、市川学園市川高校、渋谷教育学園幕張高校	
中部	ドイツ、オマーン、ハイチ、タイ
愛知県立豊田東高校	
近畿	ギリシャ、セネガル、フィジー、インドネシア
京都外大西高校	
中国	ロシア、ガーナ、ブラジル、韓国
高水学園高水高校	
九州※	スペイン、チュニジア、ウルグアイ、パキスタン
福岡県立城南高校、福岡県立武蔵台高校	
岡山※	ルーマニア、ウガンダ、メキシコ、フィリピン ※地域交流会受入高校は、県立岡山一宮高校（メキシコ）、岡山学芸館高校（ルーマニア）、清心中学校・清心女子高校（フィリピン）、県立倉敷商業高校（ウガンダ）
岡山県立林野高校、岡山県立岡山一宮高校、岡山県立矢掛高校、岡山県立和気閑谷高校	
大阪※	
大阪府立佐野高校、大阪府立住吉高校、神戸市立葺合高校、大阪教育大学附属高校池田校舎	

※複数校で1チームを構成。

※地域交流会の際は、各海外チームが該当の日本の学校を訪問する。

ESDに関するユネスコ世界会議ステークホルダー会合
UNESCO ESD ユース・コンファレンス(概要)

1. 趣 旨:

世界各国から ESD を実践または研究する青年（ユース）が一堂に会し、各々がこれまで培ってきた経験や知識を共有し、2015 年以降の ESD の推進について宣言を取りまとめる。

ユネスコは青年（ユース）を重要なステークホルダーのひとつとして位置づけており、2014 年以降の ESD の推進において、本会議参加者が各国における ESD の発信拠点となり、また今回作り上げた参加者のネットワークが ESD の世界的な推進拠点のひとつとなることを期待する。

※本会議で取りまとめられた宣言は愛知県名古屋市で開催する「ESD に関するユネスコ世界会議」(11 月 10-12 日)において共有される。

2. 日 程：平成 26 年 11 月 7 日（金）

3. 場 所：岡山国際交流センター

4. 主 催：ユネスコ、文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、五井平和財団、岡山市

5. 参加者：全世界から応募があった約 5,000 人の中から選ばれた、18 歳から 35 歳の ESD 実践者・研究者等 52 名（うち日本人 3 名）

※参加国・地域：世界 5 地域（アフリカ地域、アラブ地域、アジア大洋州地域、欧州北米地域、南米カリブ地域）より各 10 名（日本人 3 名以外は全て各国 1 名）

※参加者例：NGO 設立・代表者（多数）、起業家、ジャーナリスト、政策アドバイザー、全国優秀学生被表彰者等

6. プログラム（案）

11 月 6 日（木） 14:00-16:30	オリエンテーション
11 月 7 日（金） 09:30-10:15	開会式（主催者挨拶：下村博文 文部科学大臣（予定）、イリナ・ボコバ ユネスコ事務局長） 基調講演（サリー・アスカー ESD 世界会議・国際運営委員会委員）
10:30-12:30	分科会（各出席者の経験と課題の共有。8 分科会）
12:30-13:55	ネットワーキング・ランチ、参加者の活動紹介パネル展
13:55-15:00	全体会（分科会の結果の共有）
15:15-16:30	全体会（青年の ESD ムーブメントへの貢献について議論）
16:30-17:30	全体会（宣言取りまとめ。閉会式）

※会議に先立ち、9-10 月に参加者はオンラインディスカッションでブレインストーミングを実施。

※11 月 10 日～12 日：ESD に関する世界会議に 52 名全員が出席。代表 1 名が全体会パネリストとして登壇予定。

ESDに関するユネスコ世界会議ステークホルダー会合
岡山支援実行委員会主催フェアウェルパーティー（概要）

1. 趣 旨：

会議参加者（ユネスコ ESD ユース・コンファレンス及び持続可能な開発のための教育に関する拠点（RCE）の会議）に対し、岡山での労をねぎらうとともに、地元参加者等が一体となって温かい「おもてなし」を行い、会議参加者に快適な交流の場を提供する。

また、岡山ならではの食材を盛り込んだ料理や参加型のアトラクション等を通じて、岡山地域の魅力を発信するとともに、今後のESDの推進等に向けた一体感の醸成を図る場とする。

2. 日 程：平成 26 年 11 月 7 日（金）

3. 場 所：ホテルグランヴィア岡山 4階フェニックス

4. 主 催：岡山支援実行委員会

5. 参加者：ユネスコ ESD ユース・コンファレンス参加者、持続可能な開発のための教育に関する拠点（RCE）の会議参加者、地元選出国會議員、岡山市會議議員、岡山県會議議員、岡山支援実行委員会委員、岡山市長

6. プログラム（案）

18:30	開会（主催者挨拶：岡山市長、来賓登壇紹介）
18:40	鏡開き、乾杯（岡山市會議議長）
18:50	歓談
	アトラクション
	回顧映像上映（岡山での様子）
	アトラクション
	会議参加者より一言コメント
20:30	閉会

<問合せ先>

ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会事務局
（岡山市 ESD 世界會議推進局内）

担当：佐藤、清水、岡本

電話：086-803-1352（直通） FAX：086-803-1777

E-mail: esd@city.okayama.jp

ESDに関するユネスコ世界会議ステークホルダー会合
ユネスコスクール世界大会 ー第6回ユネスコスクール全国大会ー
講演会・交流会（概要）

1. 趣 旨：

「国連ESDの10年」におけるユネスコスクールのESDへの取組を総括し、2015年以降の活動の更なる発展に向けた方策を議論する場である第6回ユネスコスクール全国大会の一環として、ESDが日本の教育や社会に与える影響と期待、今後の展望等について、ESDを推進してきた日本ユネスコ国内委員会の会長より御講演いただく。また、併せて交流会を開催することで、ESDへの理解を一層深めるとともに、今後のESDの推進に向けた一体感の醸成を図る。

2. 日 程：平成26年11月7日（金） 18:00～20:45

3. 場 所： 岡山プラザホテル

講演会 「延養の間」（5F） 18:00～19:00

交流会 「鳥城の間」（4F） 19:15～20:45

4. 主 催： 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会

5. 参加者：「全国大会」参加者を中心とする一般参加者約300名

6. 講演会： 講師 安西祐一郎 日本ユネスコ国内委員会会長、中央教育審議会会長
演題 「未来に生きる子どもたちのために」

ESDに関するユネスコ世界会議ステークホルダー会合
ユネスコスクール世界大会 ー第6回ユネスコスクール全国大会ー（概要）

テーマ 「ESDの更なる発展を目指してー2014年を越えてー」

1. 趣旨：「国連ESDの10年」における日本のユネスコスクールのESDへの取組を総括し、2015年以降の活動の更なる発展に向けた方策を議論するとともに、ESD実践者に有益な情報・実践の共有の場を提供する。このため、日本のユネスコスクールの優れた活動事例を収集・整理した優良活動事例集を作成し、大会において配布する。また、我が国におけるESDの更なる普及とユネスコスクールの活動の充実を図るための宣言を採択する。

※事例集と宣言は、愛知県名古屋市で開催する「ESDに関するユネスコ世界会議」（11月10日-12日）において共有される。

2. 日程：平成26年11月8日（土）

3. 場所： 国立大学法人岡山大学 津島キャンパス

4. 主催等：主催 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会
共催 国立大学法人 岡山大学、岡山市、岡山市教育委員会、岡山県、岡山県教育委員会、NPO法人日本持続発展教育推進フォーラム、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟（NFUAJ）
協力 ユネスコ、ユネスコスクール支援大学間ネットワーク（ASPUivNet）

5. 参加者：日本のユネスコスクール教員、都道府県・市区町村教育委員会、ユネスコスクール協力者（企業、NGO/NPO、PTA、大学生、専門家など）、国外ユネスコスクール（教員フォーラム参加教員、ESD Riceプロジェクト参加校教員）、ASPUivNet、国内外一般参加者等 計約800名

6. プログラム（案）

9:00～ 9:30	受付
9:30～ 9:50	開会式 岡山市小学校開会宣言 主催者挨拶：藤井 基之 文部科学副大臣（予定） 安西 祐一郎 日本ユネスコ国内委員会会長 共催者挨拶：大森 雅夫 岡山市長 ESD メッセージソング 歌唱：白井 貴子 ESD オフィシャルポスター
9:50～10:00	ユネスコスクール全国大会宣言策定に関する説明
10:00～10:40	ESD 大賞授賞式（授賞式、文部科学大臣賞受賞校による事例発表）
10:40～11:40	国内外ユネスコスクールの交流実践の事例発表（スカイプ中継等）
11:40～12:00	ESD Rice プロジェクト発表（参加校 4 か国 5 校による発表）
12:00～13:00	昼休憩
13:00～14:30	テーマ別交流研修会（22 分科会）
14:40～16:40	ESD 博覧会 ・学校の ESD 優良活動事例展示（ポスター発表 6 領域約 80 校） ・企業/団体の ESD 実践事例の紹介（ブース展示とセミナー） （※ブース展示は 11:00 頃～開始）
16:55～17:15	ユネスコスクール全国大会宣言の採択
17:15～17:30	閉会式

ESDに関するユネスコ世界会議ステークホルダー会合
第9回グローバルRCE会議（概要）

1. 趣 旨：

RCEの活動の成果と課題を振り返り、「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム（GAP）」と結びつけた2015年以降のアジェンダ策定に向けて、RCEが2015年以降も効果的に実施していけるESDの具体的な取組みをについて議論する。メインテーマは「2015年以降のESD推進」。RCE会議における議論でのインプットや提案は2014年11月10-12日に愛知県名古屋市にて開催される「持続可能な開発のための教育（ESD）に関する世界会議」で共有される。

2. 日 程：平成26年11月4日（火）～7日（金）

3. 場 所：岡山コンベンションセンター

4. 主 催：国連大学サステナビリティ高等研究所、岡山ESD推進協議会、岡山市
共 催：岡山大学、環境省等

5. 参加者：（1）会議参加者 300人程度（国内参加者100名、国外参加者200名）
ESD研究者、国連大学20名程度、ユネスコ関係者、NPO/NGO、市民団体、岡山市民等
（2）オブザーバー参加者 100名（国内参加者）

6. プログラム（案）

	11/4(火)	11/5(水)	11/6(木)	11/7(金)
			7:15～9:30 フィールドトリップ @後楽園、岡山城	
午前		9:00～10:30 全体会 @OCC 3F コンベンションホール	10:00～12:00 Ⅰ：RCE アワード Ⅱ：政策決定者円卓会議 @OCC 2F-4F	9:00～12:30 全体会 @OCC 3F コンベンションホール
		10:30～12:30 分科会 @OCC 3F-4F		
昼食		12:30～14:00 Lunch 及びランチョン @OCC 1F-2F	12:00～13:30 Lunch @OCC 1F	12:30～13:30 Lunch @OCC 1F-2F
午後	15:00～ 参加登録・受付	14:00～17:30 全体会 @OCC 3F コンベンションホール	13:30～15:30 テーマ別分科会 @OCC 3F-4F 15:30～17:00 全体会 @OCC 3F コンベンションホール	13:30～16:30 岡山市内小学校ESD活動発表・展示、市民団体ESD活動展示
夕食	18:00～ UNU-IAS Welcome Reception @全日空ホテル		18:00～予定 ESD ウィークオープニングセレモニー (他会議と合同)	18:30～20:30 Farewell Party (他会議と合同)

<問合せ先> 岡山ESD推進協議会事務局（岡山市ESD世界会議推進局内）
担当：流尾、友延、安田
電話：086-803-1354（直通） FAX：086-803-1777
E-mail: esd@city.okayama.jp